

第33期 中間期決算説明会

平成25年6月7日

株式会社エイチ・アイ・エス

第33期 中間期業績報告

P3	連結業績概要
P4	連結業績推移
P5	主要事業の概要
P6~9	旅行事業 日本国内・海外
P10	テーマパーク事業 ハウステンボス
P11	その他事業 ホテル・九州産交グループ・運輸

業績予想、主要事業の取り組み

P12	連結業績予想
P13	主要事業の取り組み
P14~20	旅行事業 日本国内・海外
P21~22	テーマパーク事業 ハウステンボス
P23	その他事業 ホテル・九州産交グループ・運輸

参考資料

P24	燃油サーチャージ、為替推移
-----	---------------

もっと世界を楽しもう

H.I.S.
Love, Peace, TRAVEL

連結業績概要

(百万円)

		32期(2Q)	33期(2Q)	増減	前期比
売上高		201,289	224,633	23,344	111.6%
売上総利益		36,633	40,730	4,096	111.2%
販管費		31,594	34,674	3,080	109.7%
営業利益		5,039	6,056	1,016	120.2%
経常利益		6,438	7,847	1,409	121.9%
当期純利益		4,138	4,681	542	113.1%
店舗数	国内	261	273	12	104.6%
	海外	118	145	27	122.8%
従業員数(人)※		8,661	11,662	3,001	134.6%

※ 従業員数は正社員、契約社員、パート、アルバイト含む
 ※ 九州産交グループの連結子会社化による増員

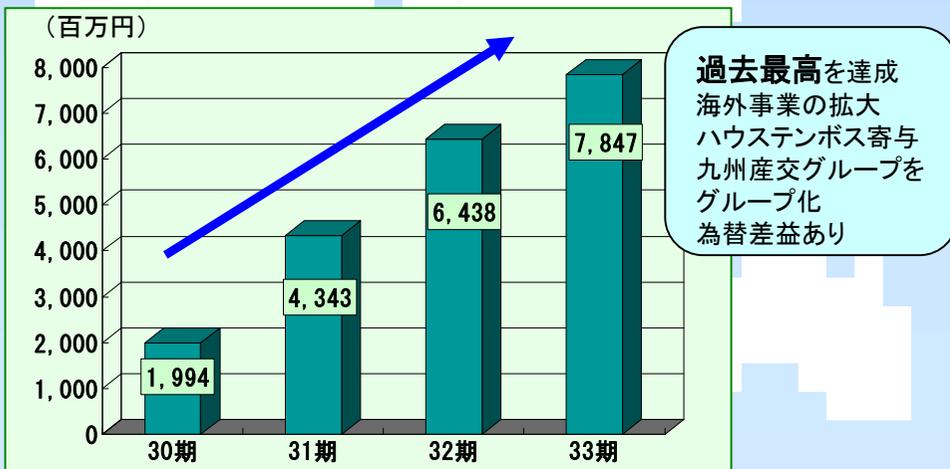
売上高(2Q)



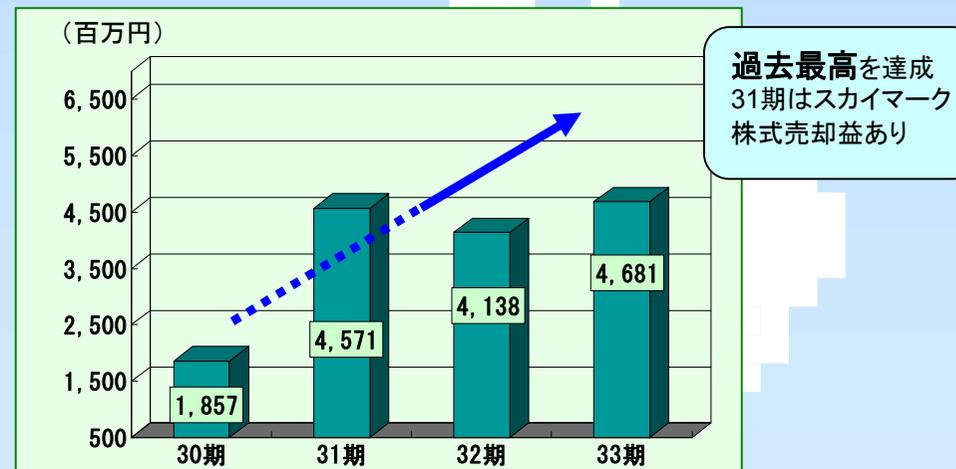
営業利益(2Q)



経常利益(2Q)



四半期純利益(2Q)



旅行事業 (H.I.S.日本/海外、国内グループ会社)

(百万円)

	32期(2Q)	33期(2Q)	前期比
売上高	192,727	200,707	104.1%
営業利益	5,008	3,641	72.7%

ホテル事業

(百万円)

	32期(2Q)	33期(2Q)	前期比
売上高	1,345	2,121	157.6%
営業利益	-33	25	-

運輸事業

(百万円)

	32期(2Q)	33期(2Q)	前期比
売上高	40	32	81.3%
営業利益	-289	-326	-

テーマパーク事業「ハウステンボス単独」

(百万円)

	32期(2Q)	33期(2Q)	前期比
入場者数(千人)	875	1,292	147.6%
売上高	7,215	10,029	139.0%
営業利益	1,160	2,726	235.0%

九州産交グループ

(百万円)

	32期(※2Q)	33期(2Q)	前期比
売上高	-	12,412	-
営業利益	-	765	-

※33期より、年間を通して連結となります。

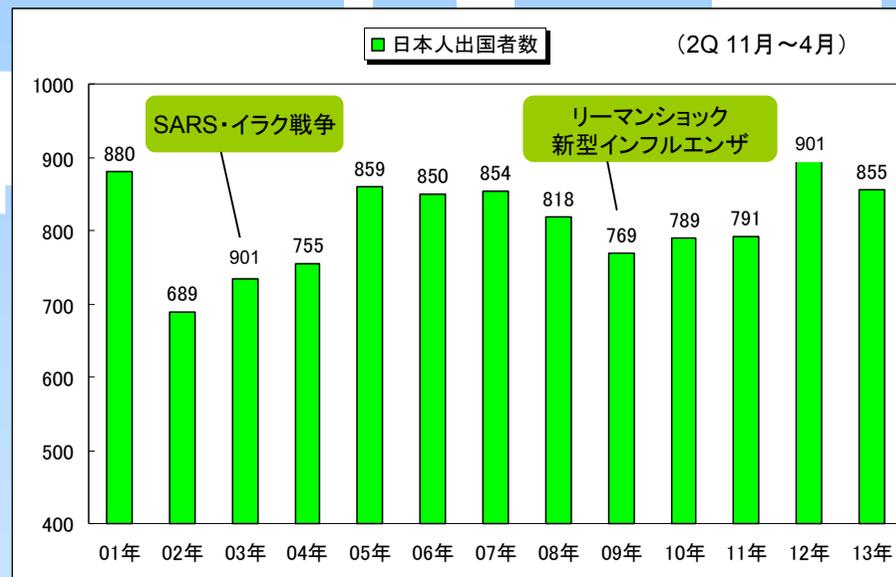
旅行事業 (H.I.S.日本/海外、国内グループ会社)

<市場環境>

- 日本発の海外旅行需要は堅調に推移
「ネガティブ要因」
- ◆外交問題の影響
 - ◆急速な為替変動
- 「ポジティブ要因」
- ◆景気改善による個人消費の持ち直し
 - ◆シニア世代における旅行意欲の高まり

	(2Q 11月~4月)	32期	33期
アジア	65%	58%	-7% ↓
ハワイ・グアム・サイパン	18%	22%	+4% ↑
ヨーロッパ	9%	11%	+2% ↑
その他	8%	9%	+1% ↑

- ◆当社方面別出国者数(構成比)
アジアのシェアが減少し、ビーチリゾートが増加



- ◆日本人出国者数(推計値)
平成24年11月から平成25年4月の日本人出国者数は約855万人(前期比5.1%減)の見込み

商品・サービス



- ◆「チャータークルーズ」への挑戦
- ◆「シニア割」の導入
- ◆成田・羽田空港における専属アシスタントサービス開始

営業拠点の拡充

- ◆全国的に「商業施設」への出店や海外ウェディングなど専門店の強化
- ◆新宿三丁目に大型旗艦店をオープン



インターネットにおける旅行販売

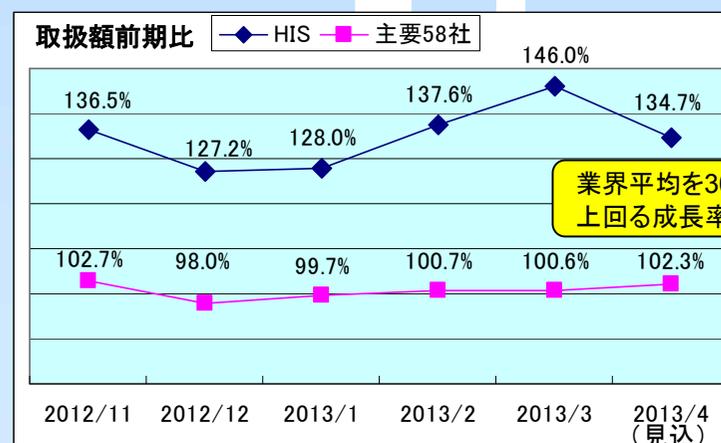
- ◆「航空券+ホテル」サイトのスマートフォン対応
- ◆国内宿泊予約サイト「スマ宿」掲載施設数5,000軒超え

団体旅行

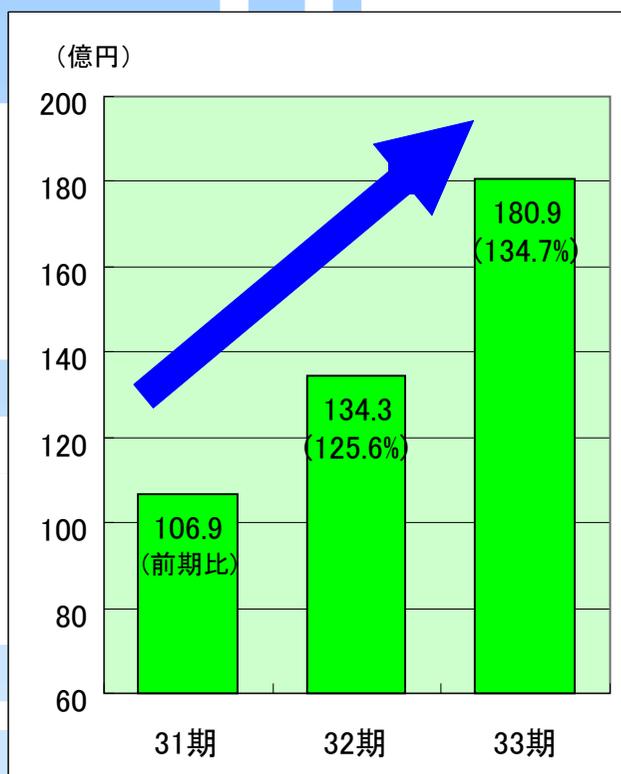
- ◆大型案件(企業・イベント・修学旅行など)の受注増加により、好調に推移

国内旅行

- ◆全店舗販売や商品・サービス強化により、好調に推移



H.I.S.日本を介さない売上高(2Q) (インバウンド、アウトバウンド合計)



H.I.S.日本を介さない取扱人数(2Q) (インバウンド、アウトバウンド合計)

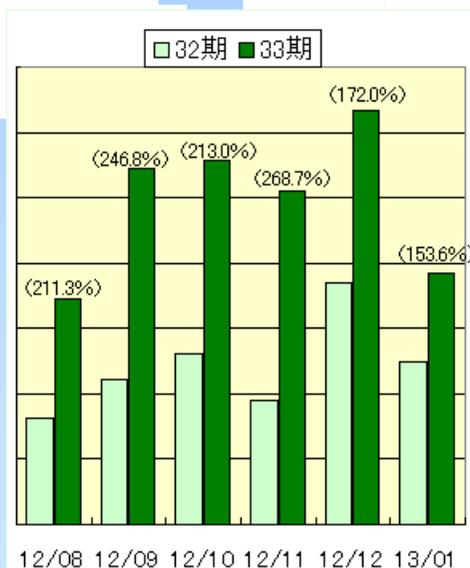


◆インバウンド、アウトバウンド両業務ともに事業拡大し、海外における旅行事業は好調に推移

東南アジア地域



- ◆海外拠点展開(今後予定:南米・中近東・アフリカ)
49カ国、106都市、145拠点 (平成25年4月末時点)
- ◆現地のお客様向けオンライン予約サイト
オーストラリア・香港サービス開始 → 6ヶ国展開



- ◆タイ、バンコクにおける多店舗展開の進捗
トラベルワンダーランドバンコク増床リニューアル
2拠点目となるエカマイ営業所オープン

- ◆インドネシアにおける店舗展開スタート
トラベルワンダーランドジャカルタを増床リニューアル
ジャカルタを中心とした多店舗展開スタート

ローカル取扱人数の推移
バンコク・アウトバウンド拠点における
ローカル取扱人数は前期比204.6%
と大幅に増加



テーマパーク事業

「光の王国」や「チューリップ祭」など、スケールアップしたイベントが大好評いただき入場者数増を牽引



光の王国シリーズ 東洋一から世界一へ
ハウステンボスにおいてのみ体験できる圧倒的な
1,000万球のイルミネーションの世界が登場し大好評



「チューリップ祭」

日本最多550品種・日本最大規模のチューリップで彩り大好評



アレキサンダー広場リニューアル
欧州の風薫る大人の空間へと様変わり



ザメイズ

複合型巨大迷路アトラクション

ホテル事業

グアムリーフ&オリーブスパリゾート(前期グループ化)
→ 大幅なリノベーションを実施
ウォーターマークホテル長崎
→ 訪日旅行客の集客強化を図り業績が改善



九州産交グループ

国内旅行強化、訪日旅行促進を目的に、前期にグループ化
グループ内における相乗効果などにより、順調に推移
※33期より、年間を通して連結となります。



運輸事業

平成24年10月より長期運休。海外事業法人との間において
平成25年2月より、3年間の裸傭船契約を締結

連結業績予想

(百万円)

	32期	33期※	増減	前期比
売上高	431,483	490,000	58,516	113.6%
営業利益	11,316	15,000	3,683	132.5%
経常利益	13,479	17,000	3,520	126.1%
当期純利益	9,331	10,000	668	107.2%

<市場動向>

※売上高・営業利益・経常利益・当期純利益ともに過去最高の業績を予想

世界経済・・・環境は引き続き不透明
 旅行業界・・・好転している景況感の元、個人消費の持ち直し
 ・・・・活発なシニア世代の動き
 ・・・・昨夏以降継続している外交問題の影響からの回復
 ・・・・首都圏空港の発着枠増加
今夏以降の旅行需要は、増加基調で推移すると想定

◆旅行事業

日本国内

クルーズ旅行 国内旅行
ファミリー・シニア世代の集客

海外

東南アジアにおける事業拡大
(シェア・認知度UP・No.1戦略実行)

◆テーマパーク事業

ハウステンボス

オンリー1戦略・No.1イベントの実施

商品展開

- ◆ 集客増加に向けた積極的なチャータークルーズ、オリジナルチャーターフライトの利用
- ◆ ファミリー旅行商品の拡充、ディスティネーション強化と合わせ夏商戦を展開



コスタビクトリア号チャーター



フランス・ルーブル美術館



ホノルル・レアアートルーリー

H.I.S.貸切
オリジナル



イタリア・ヴァザーリの回廊



ホノルル・レアアラウンジ

クルーズプラネット

チャータークルーズ事業協業
共同仕入、企画販売を強化

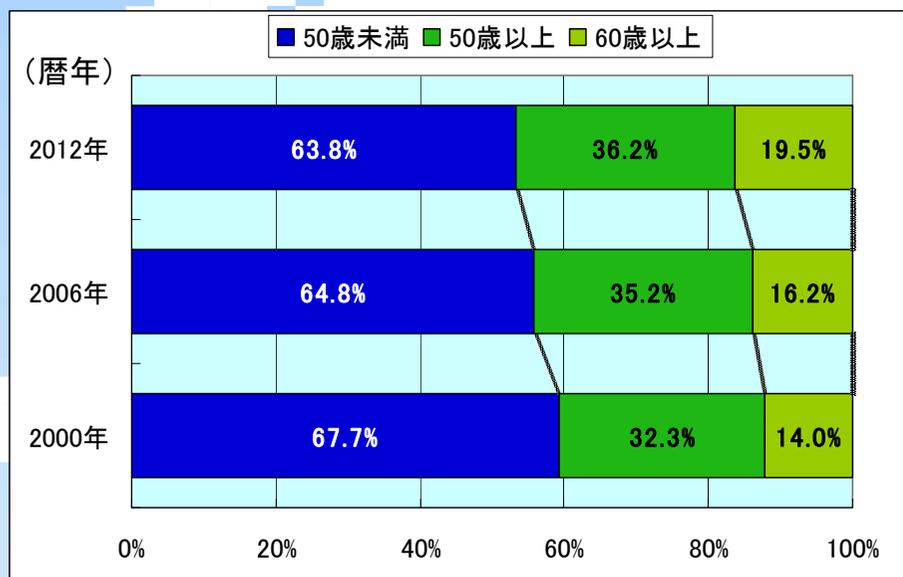


ファミリー旅行

強化ディスティネーション(ハワイ・ヨーロッパ)
H.I.S.オリジナル施策の一例

シニア世代

主力層である「20代・30代」以外のターゲット層として、需要が拡大している「シニア世代」への取り組みを強化



日本人出国者の「年代別」の構成比
→ シニア世代の伸び率増加が顕著に



- ◆ シニア向け広告・商品の拡充、安心・安全への取り組み強化
- ◆ シニア中心のイベントへの積極参加など広報活動の強化



販売チャネル

(店舗)



店舗イメージ

- ◆ 集客力の高い商業施設を中心に店舗展開を推進
- ◆ システムを活用した業務効率化の促進

(法人)(団体)



- ◆ 各企業様にフレキシブルなサービスを確立
- ◆ 研修旅行・修学旅行などの大型案件受注の強化

(インターネット)



- ◆ SNSの活用、ソーシャルトラベルサービス「Trip Nation」導入
- ◆ 新たなFAQシステムの導入など、ユーザビリティの向上
- ◆ 対オンライン旅行会社としてWEB上での商品を展開

(専門分野)



- ◆ 海外挙式販売網の拡充
- ◆ テーマ性の高い旅行企画の強化
- ◆ ソチ冬季オリンピック観戦ツアー販売

事業拡大、着地型ビジネスの確立

- ◆ 沖縄・九州・北海道を中心にANAやLCCを利用した自社主催のツアー商品の販売強化
- ◆ 沖縄本島・石垣島でのシャトルバスの運行などオリジナリティ溢れる商品企画で他社と差別化
- ◆ ハウステンボス商品の充実を図り、グループ間送客を強化
- ◆ 国内宿泊予約サイト「スマ宿」の拡販



ゆんたくシャトル



H.I.S.主催パンフレット

オリオンツアー

バス事業の強化

都市間高速バス、バス+宿泊・日帰りツアー



国内宿泊予約サイト「スマ宿」

タイ・バンコク

- ◆バンコクにおける多店舗展開の加速
- ◆シェア・認知度No.1へ「H.I.S.ブランド」の確立

今期中に
10店舗へ拡大
(予定)



バンコク・パヤタイ営業所



バンコク・スワンナプーム空港営業所

高架鉄道BTS(スカイトレイン)の各駅や空港などを中心とした多店舗展開を加速、流通網・認知度UPを強化



オリジナル商品の企画・販売(オンラインエージェントとの差別化)
→ ローカル向けにH.I.S.商材を活用したパッケージ商品を拡充



交通広告



タイ旅行博



インターチェンジビル広告

ローカル向け認知度UPの強化
バンコクにおけるイベントへの参加
トレインジャックなどの交通広告の拡大

海外拠点アウトバウンド展開

- ◆強化地域「東南アジア」における多店舗展開の促進
- ◆現地のお客様向けオンライン予約サイトを通じた拡販

(インドネシア)



トラベルワンダーランド ジャカルタ



旗艦店「トラベルワンダーランド ジャカルタ」を中心にジャカルタにおける多店舗展開を開始



インドネシア・スラバヤ営業所



インドネシア・チカラン営業所

インドネシア主要都市への拠点展開の推進

(ベトナム)



トラベルワンダーランド サイゴン

大幅増床リニューアルオープン
業界初ツアーデスクの併設



8月には
39ヶ国展開
(予定)

「スマートブッキング」

ローカル言語対応のオンライン予約サイト展開

海外拠点インバウンド展開

- ◆ 拠点間送受客の強化
アウトバウンド拠点 → 送客強化
インバウンド拠点 → 受客強化
- ◆ 「SKY hub」事業の拡大
- ◆ 中国人マーケットの受入強化



欧州エクスプレス

海外拠点との連携
海外商材のB2B販売の拡販

ジャパンホリデートラベル

海外拠点との連携
中国人マーケットをH.I.S.アジア拠点へ
送客強化



ミキツアーリスト

海外拠点との連携
ヨーロッパのエージェントへ
H.I.S.アジア商材のB2B販売
共同企画、ツアーデスク共有



H.I.S.海外拠点

- ・ 受客サービス (ツアーデスク、送迎など)
- ・ ホテル、オプション商材
～質の高いインフラを活用～



受入スタッフ・送迎バス

VACATION事業

海外ホテル・オプションツアー予約サイトの拡充
掲載ホテル数12万軒へ



他社との差別化

- オリジナル施策の一例
- タイ・スワンナプーム空港における「H.I.S.入国審査優先レーン」の設置
 - 自社国際チャーター航空会社初就航

ハウステンボスにおいてのみ体験できる

「オンリー1」「NO.1」

各種のイベントを展開



注目イベント



水と冒険の王国

大きな屋外プールをはじめ、ウォータースライダーや涼感スポットなど大きくスケールアップして過去最大規模で登場！



花と光の王国、夏の光の国

全国で話題沸騰の「光の王国」を夏にも開催！

イベント・アトラクション一例

人気のイベント



花の王国 第3弾 あじさい祭

日本最多650品種、14,000株
新たなあじさいスポットが登場

新イベント



大・富士山展

世界で一番美しいボストン美術館門外不出の
浮世絵コレクション



世界花火師競技会

世界の強豪花火師チームが来日し
トップレベルの最高の興奮と感動を体験



地域経済の活性化に貢献できる
よう、テーマパーク事業の更なる
強化・魅力向上に努めると共に
〔観光ビジネス都市〕の実現に向
けた取り組みを行ってまいります。

イベント・アトラクション一例

◆ ホテル事業



グアムリーフ&オリーブスパリゾート

リノベーションを実施し、スパやレストランも刷新

垂直統合型モデルの一環としてグループからの受客を強化



◆ 九州産交グループ



国内旅行、訪日旅行の強化として前期にグループ化
熊本県を中心としたバス事業や不動産事業などを展開

◆ 運輸事業

国際チャーター航空会社

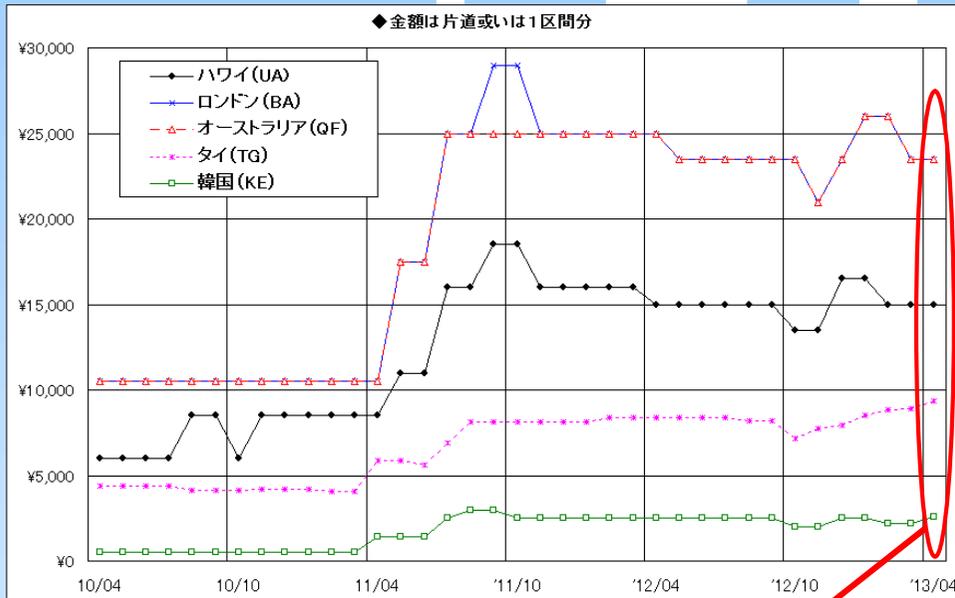
就航に向けて順調に準備を進め、今夏の初便就航を予定

※33期連結業績に与える影響はなく、34期から連結の予定となります。

【参考資料】 燃油サーチャージ、為替推移

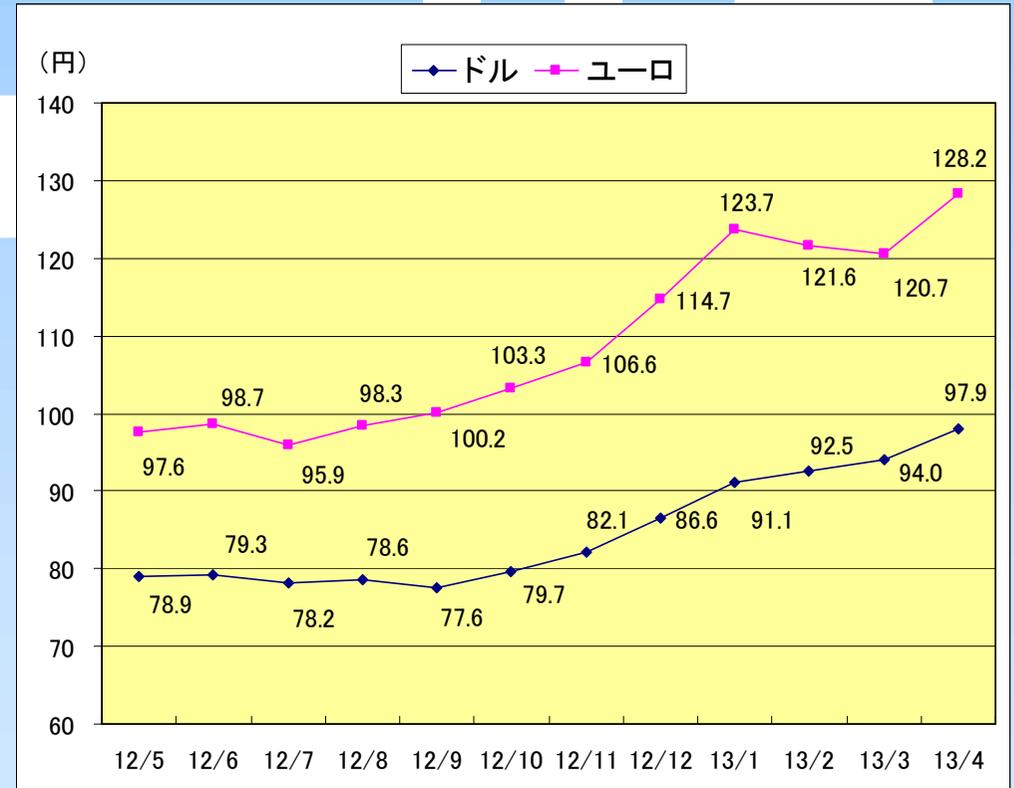


燃油サーチャージ



航空会社	区間	金額
ユナイテッド航空(UA)	日本-ハワイ間	片道 ¥15,000
ブリティッシュエアウェイズ(BA)	日本-ロンドン間	片道 ¥23,500
カンタス航空(QF)	日本-オーストラリア間	片道 ¥23,500
タイ国際航空(TG)	日本-タイ間	片道 ¥9,340
大韓航空(KE)	日本-韓国間	片道 ¥2,600

為替推移(対円)



❖ 弊社IRに関するお問合せは下記までご連絡下さい

株式会社エイチ・アイ・エス

本社経営企画室 清國・清水・梅本

TEL 03-5908-2070 FAX 03-5908-2423

Mail umemoto.satoshi@his-world.com



夏 2013 コスタ ビクトリアで行く
クルーズ

全長253m
ジャンボジェット機の
約3倍

業界 **NO.1** へ挑戦
連続6隻コスタクルーズ
チャーター特別企画
約14,000名様分の
客席をご用意!

コスタ ビクトリア Costa Victoria

コスタクルーズはイタリアジェノバに本社を置き、60年の信頼と実績を持つ、地中海クルーズの名門といわれるヨーロッパを代表するクルーズ会社。洗練された外観を持ち、多彩なサービスで、お客様に快適なクルーズライフを提供します。

- 全長/253m ●総トン数/75,000トン ●船室数/964室
- 巡航速度/22ノット ●試航年/1996年(2004年改装)